

OVER35 [マネー&モテ度] 倍増 裏計画 ● 男が選ぶ [好きな男/嫌いな男] 2013

スペシャルインタビュー 島崎遥香 安倍政権に反社勢力が大喜び

青木雄二プロダクション 新 ナニワ金融道

SPA!

Business, Culture and Entertainment Weekly.
115 週刊SPA 2013 380円
1982年2月23日創刊(隔週) 隔週2013年1月6日発売(隔週火曜日発行) 通巻3351号
ETI/SPA! ● http://nikkan-spa.jp/

OVER 35

マネー & モテ度 倍増 裏計画

お金と恋愛に精通した猛者だけが知る「真の裏ワザ」を公開

年収が倍増する「転職」「お小遣いが倍増する副業」「成功率が倍増する口説き文句」etc.

福山雅治の牙城に迫る新興勢力は?

男が選ぶ 好きな男 / 嫌いな男 2013

本当に維新を起して欲しいという男「聞く力がある男」
「スエマ」してそつな男 etc. 男だらけのリアル好感度ランキング

「ポジティブ」という病

「俺はハーバードと東大に嵌められた」
iPS 森口尚史が新年早々吼えた

2013 [日本のエロカルチャー]が大激変

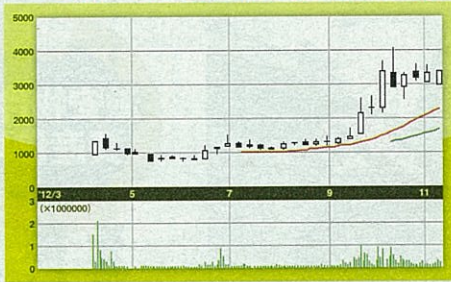
東南アジアの「雄」インドネシア株を狙い撃て!

島崎遥香 (AKB48)

みうらじゅん & リリー・フランキーのグラビアン魂 [壇蜜]



エイチーム(3662)の上場後の値動き



好調IPOを象徴する銘柄の一つ、昨年4月の上場後、底値787円から4095円まで爆騰

IPO投資で軍資金倍増

**初値を追わず調整期を
狙え！ 今年の倍増
期待銘柄はコレだ！**

投資 資で倍増といえは、IPO (新規上場) 株。リーマン

ショック以降の低迷期を脱し、昨年上場を果たした日本企業は合計で46社にも上った。今年も十分に期待ができそうだ。
「2012年はIPOの当たり年でした。エイチーム(3662)のように、上場して数か月後に公募価格の4倍にもなった銘柄も。2013年はリクルート、サントリー食品インターナショナルと大型IPOが控えているといわれており、話題性も十分です」

フィスコのアナリスト・小川佳紀氏も注目のIPO。が、何でも



アナリスト
小川佳紀氏

さまざまな経済情報を発信する、フィスコのIPO担当アナリスト。中堅証券会社を経て現職。ほかにも中小型株や為替市場の分析も手がける

「業種別にはもはや鉄板といえるITのほかに、iPS細胞が話題になったバイオ、土地公示価格も底入れし長期スパンで上昇の兆しのある新興不動産が狙い目ですね。テクニク的な面では上場時の吸

増、3倍増も夢ではない。まずは12月上場銘柄の見直しからだ。
「業種別にはもはや鉄板といえるITのほかに、iPS細胞が話題になったバイオ、土地公示価格も底入れし長期スパンで上昇の兆しのある新興不動産が狙い目ですね。テクニク的な面では上場時の吸

増、3倍増も夢ではない。まずは12月上場銘柄の見直しからだ。
「業種別にはもはや鉄板といえるITのほかに、iPS細胞が話題になったバイオ、土地公示価格も底入れし長期スパンで上昇の兆しのある新興不動産が狙い目ですね。テクニク的な面では上場時の吸

極意

現在調整期を迎えている昨年12月上場の銘柄が仕込み時!

収資金(公募価格×公募&売り出し株数)が10億円程度の、小粒案件の株価が倍増しやすい傾向にあります。ぜひ目論見書をチェックして計算してみましょう!

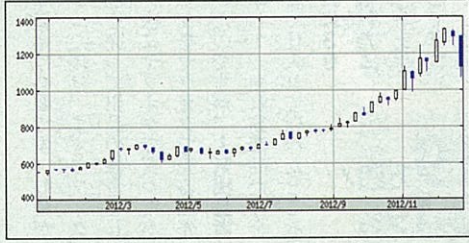
バリュ投資で軍資金倍増

資産1億円達成男推奨。低PERなら、半年で倍増も夢ではない!

安

倍政権の誕生で、株相場にも好影響をもたらすことが確実視されている2013年。長期保有のバリュ投資なら、さらなる値上がりも期待できそうだ。
「2013年の相場は為替が円安トレンドになっていますから、日

実際の倍増銘柄! 東祥(JQ・8920)



PER8倍だった5月に600円台で購入。株価はほとんど上昇して1200円台に! 半年で倍増成功!



W9945氏

資産1億円を達成した個人投資家。PER10倍以下の割安株を買うバリュ投資で2012年11月に資産1億円超えを達成した。株歴は18年。株主優待にも詳しい

「バリュ投資とは割安な銘柄を買って値上りを待つだけ。難しいテクニクはいりません。そもそも私はサラリーマンで昼間は働いていませんから、ずっと相場を見

本株も全体的に上がると思っています。バリュ投資ならリスクも軽減できるうえに、倍増も可能ですよ」
そう語るのは個人投資家のww9945氏。バリュ投資だけでこの10年で資産は11倍になり、先日、1億円の大台を突破した敏腕投資家だ。しかし、そんなに簡単に儲かる手法なのか?



投資

篇

一時より儲からなくなったといわれて久しい株投資。しかし、タネ銭を倍増できるチャンスは眠っていた!

極意
PER10倍以下で会社が成長している銘柄を探すべし!

「割安割高を測る指標のPERが10倍以下というのを重要視します。好業績狙いでナック(東1・9788)、マーケット好転を見込んで旭硝子(東1・5201)や大和証券グループ(東1・8601)などを保有していますが、バリュ株を探すのはまさに宝探し。当たれば倍増は間違いないですよ」